

No.10
2002.2.1

いしかわの遺跡

古代体験ひろば オープン!



石川県が平成9年度から整備を進めてきた体験学習施設「古代体験ひろば」が完成し、平成13年5月3日にオープンしました。これで平成10年春に竣工した本館、収蔵庫とあわせ、全国有数の規模と内容をもつ石川県埋蔵文化財センターの施設全体が完成したことになります。緑に囲まれたひろばには体験工房や復元住居などがあり、様々な古代の暮らしに触れる体験をとおして歴史を学ぶことができます。

「古代体験ひろば」の開設記念式典に続いてオープニングイベント「古代体験まつり」を5月3日から6日まで開催したところ、延べ5,500人ものが参加されました。今後は既存の常設展示や各種講座、講演会とともに、ひろばを活用した体験学習事業の充実に努めていきたいと思っております。

財団法人 石川県埋蔵文化財センター

Ishikawa Archaeological Foundation

〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1
TEL 076-229-4477 FAX 076-229-3731
E-mail mail@ishikawa-maibun.or.jp
ホームページ <http://www.ishikawa-maibun.or.jp/>

古代の人々の生活や技術を楽しく体験、 先人の暮らしを再発見しよう！

- 古代体験ひろばの概要 -

広さ約13,000m²のひろばには体験工房、復元住居、復元古窯、移設古墳、体験農園の他、野外ステージのある祭り庭等が設けられています。また、敷地内には、当時の里山の植生に基づいた多くの樹木を植えています。



復元住居

復元住居

県内で発掘した住居跡をモデルに、縄文時代、弥生時代、奈良時代の復元住居各1棟と、縄文時代の復元住居を2分の1の大きさに縮小した組立体験用1棟の計4棟があります。中に入って構造が異なる住居を見くらべてください。きっと先人たちの知恵を見つけることができるでしょう。



・整備面積

13,200m²

・主な施設

- 体験工房 1棟 405.40m²)
- 復元住居 4棟
- 屋外ステージ 1棟(29.81m²)
- 移設古墳上屋 1棟(52.00m²)
- 小松市八幡2号墳、同市那谷金比羅山古墳埋葬施設を移設展示
- 復元古窯 1基(穴窯)
- 体験農園 1箇所(273m²)
- 倉庫 1棟(128m²)

・完成

平成13年3月

・開館時間

午前9時～午後5時

・休館日

12月29日～翌年の1月3日及び資料の展示替え又は整理の期間(冬季は、積雪などにより臨時休館する場合があります)



復元古窯

復元古窯

古墳時代中期(5世紀)から奈良・平安時代にかけて須恵器を焼いた穴窯をモデルにしています。当時の窯の内部は粘土を貼り付けて壁としていましたが、補修が大変で、天井が落ちることもありました。復元した窯では安全のために窯壁に耐火レンガを使用しています。

移設古墳

発掘調査が行われた2基の古墳の埋葬施設を移設、展示しています。一つは、小松市八幡に所在した直径約13mの円墳、八幡2号墳の埋葬施設です。古墳時代後期の木芯粘土室^{もくしんねんどしつ}と呼ばれる南加賀地方特有のもので、木材で骨組みをつくり、粘土で覆った墓室であったことが確認されています。もう一つは、小松市那谷町^{なた}に所在した、直径約10mの円墳、那谷金比羅山古墳の埋葬施設です。古墳時代終末期（8世紀初頭）にみられる横口式石槨で、凝灰岩の切石を組み合わせてつくられています。

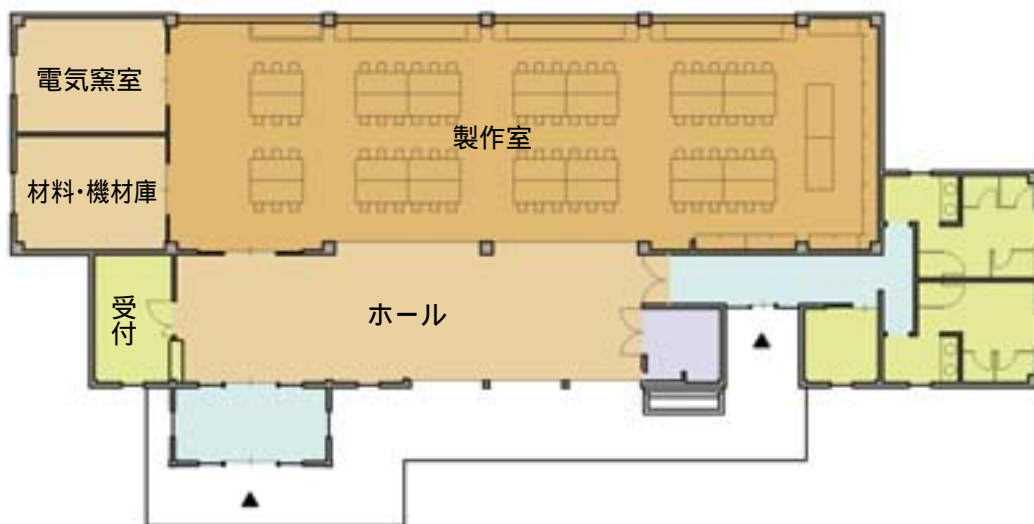
- 体験工房 -

平屋建の落ち着いた雰囲気建物です。内部は約80人が入ることのできる製作室や電気窯室、材料・機材庫などがあり、工作机やろくろ、体験用具製作用具類が整備されています。ここでは火おこし、古代衣装試着、土器づくりなどさまざまな古代の技術や生活体験を楽しむことができます。

個人および小グループを対象とする随時体験メニューを設けるほか、平日は学校や生涯学習などの団体を対象とする体験学習（要予約）も行います。



体験工房



体験工房製作室

…インフォメーション…

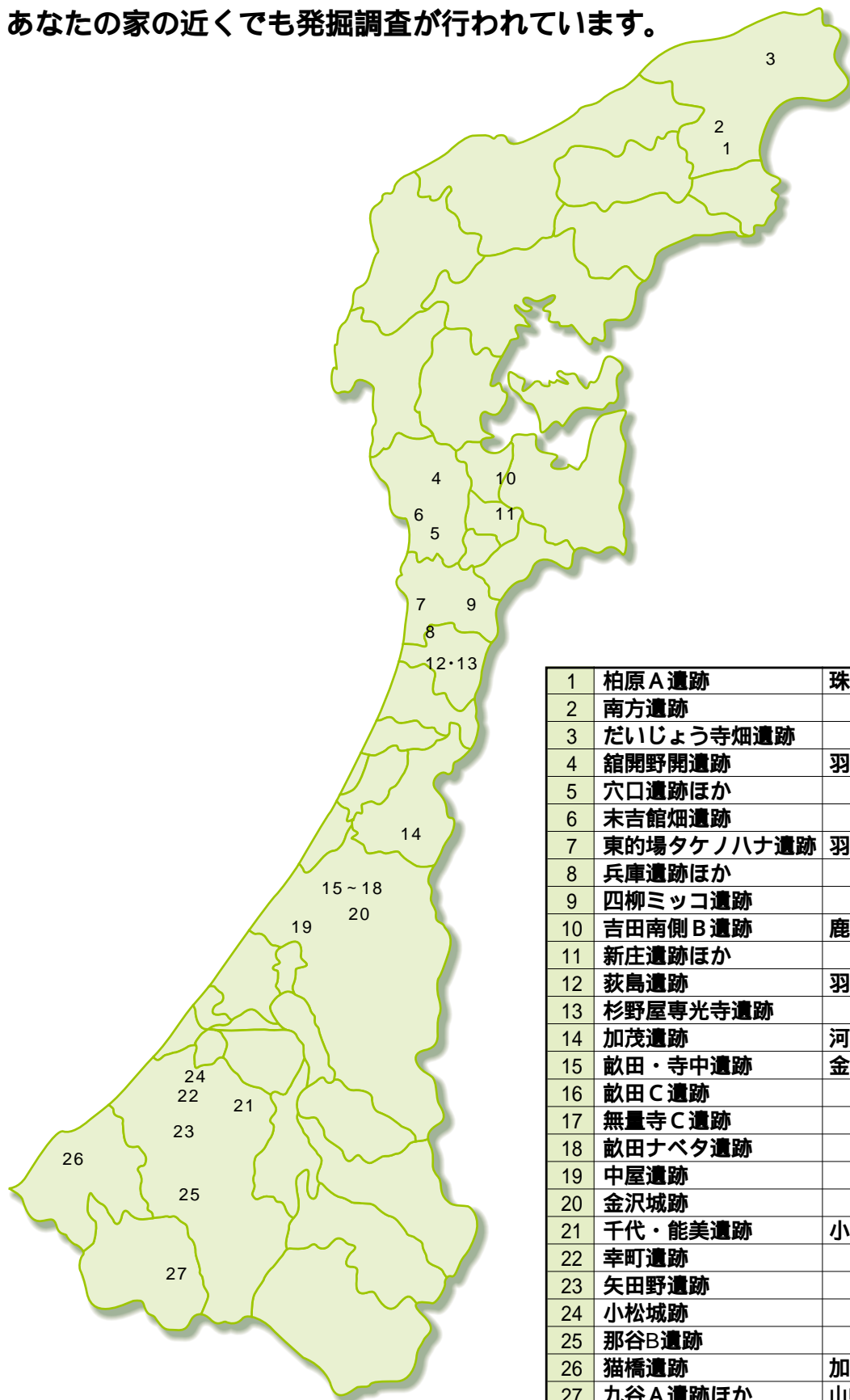
ひろばは、午前9時～午後5時までオープンしています。

各種お問い合わせは埋文センター企画課までお願いいたします。

TEL (076) 229-4477

平成13年度発掘調査遺跡

あなたの家の近くでも発掘調査が行われています。



1	柏原A遺跡	珠洲市宝立町柏原
2	南方遺跡	〃 上戸町南方
3	だいじょう寺畑遺跡	〃 若山町大坊
4	館開野開遺跡	羽咋郡志賀町館開
5	穴口遺跡ほか	〃 〃 穴口
6	末吉館畑遺跡	〃 〃 末吉
7	東の場タケノ八才遺跡	羽咋市東の場町
8	兵庫遺跡ほか	〃 兵庫町
9	四柳ミッコ遺跡	〃 四柳町
10	吉田南側B遺跡	鹿島郡田鶴浜町吉田
11	新庄遺跡ほか	〃 鳥屋町新庄
12	荻島遺跡	羽咋郡志雄町荻島
13	杉野屋専光寺遺跡	〃 〃 杉野屋
14	加茂遺跡	河北郡津幡町加茂
15	畝田・寺中遺跡	金沢市畝田西
16	畝田C遺跡	〃 畝田中
17	無量寺C遺跡	〃 無量寺
18	畝田ナベタ遺跡	〃 畝田東
19	中屋遺跡	〃 中屋町ほか
20	金沢城跡	〃 丸の内
21	千代・能美遺跡	小松市能美町
22	幸町遺跡	〃 八幡町・上本折町
23	矢田野遺跡	〃 矢田野町
24	小松城跡	〃 丸内町
25	那谷B遺跡	〃 那谷町
26	猫橋遺跡	加賀市片山津町
27	九谷A遺跡ほか	山中町九谷町・小杉町

平成13年度 普及行事

今年度は、古代体験ひろばのオープンにともない、古代の生活体験を学べる行事がいっそう増えました。既におこなった行事は、参加者の皆さんに好評を得ています。

ふるさと考古学講座

埋文考古学講座 考古学の基礎知識や考古資料の見方、調査研究成果などのテーマについて、わかりやすく解説する講座です。

第1回	6/3(日)	「中世の城と館」	整理課	田村昌宏
第2回	10/8(月・祝)	「弥生時代の鉄製品」	調査第1課	林 大智
第3回	11/18(日)	「墨書土器の世界-古代人と文字-」	調査第4課	和田龍介

話題の遺跡講座 全国的に話題となっているテーマを、第一線で活躍している研究者を講師に招き、最先端の研究成果をわかりやすく解説する考古学講座です。

11/4(日) 「中世のまじなひ」 奈良大学教授 水野正好

発掘速報会 今年度、県内で発掘された畝田・寺中遺跡、万行遺跡など代表的な7遺跡について、発掘に携わった調査員が調査成果をわかりやすく報告します。

3/10(日) 午後1時20分～ 石川県立社会教育センター4階講堂

第3回いしかわの発掘展「木製品にみるいしかわの古代」 8/1(水)～8/31(金)

当センター特設会場で、近年の発掘調査成果の中から選んだテーマによる企画展です。今年度は木を視点にして古代石川の人々の生活や匠の技、考古学における先端技術をテーマとして、出土木製品の展示をおこないました。

体験コース

体験コース 古代体験ひろばを会場に、個人・家族連れなどを対象とした随時体験(予約不要)と、学校などを対象とした団体体験(平日のみ、予約要)をおこなっています。体験内容は、火おこし、まが玉づくりなどがあります。

学習講座 古代体験ひろばを会場に、古代の人々の生活や技術を体験する「本物志向」の学習講座です。参加には予約が必要です。

5/20(日)	体験教室「縄文時代の暮らしにふれる」
6/24(日)	体験教室「弥生時代の暮らしにふれる」
7/8(日)	「弥生土器づくり教室」
7/20(金・祝)	「親と子のまが玉づくり教室」
8/4(土)	「親と子の縄文土器づくり教室」
9/1(土)	「縄文・弥生土器野焼き教室」(縄文・弥生土器づくり教室参加者のみ)
9/16(日)	「古代住居建築体験教室」
11/11(日)	「須恵器づくり」 須恵器焼成は12/2～9日におこないました。
3/3(日)	「古代機織り体験教室」(定員30人、募集開始2/4～)

親と子の発掘体験教室 夏休みを利用して、小学校4～6年生とその保護者が、遺跡の発掘調査を体験する教室です。

7/29(日)	加賀地区 小松市千代・能美遺跡
8/19(日)	金沢地区 金沢市畝田ナベタ遺跡

出前考古学教室 学校や公民館などを対象として、考古学資料を活用した講義や展示、体験教室を12回おこないました。

体験農園収穫まつり

10/27(土)

古代体験ひろばを会場に、体験農園で収穫したアワ・ヒエなどの脱穀・調理体験や試食体験、古代～現代の食卓還元展示など、古代の食生活をテーマにさまざまな体験をおこないました。

オープニング・イベント

古代体験まつり

古代体験ひろばの完成を記念して開催した古代体験まつりは、連日たくさんの人々で大盛況でした。その体験コーナーでの一コマを紹介します。



オープニングに先立ち、完成記念式典がおこなわれました。テープ・カットにより、4日間にわたる古代体験まつりがスタートしました！



こんな感じ？

体験工房の様子です。まが玉づくりは行列が絶えないほどの人気コーナーでした。

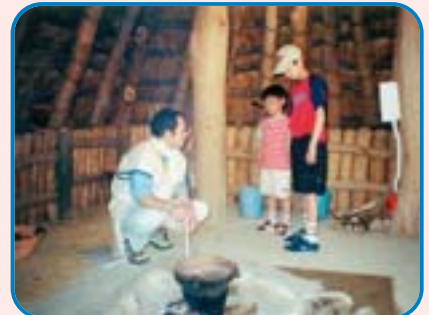


ほら！きれいな音でしょ。

弥生の土笛



飛鳥人に変身。他にも卑弥呼（ひみこ）の衣装とか、いろいろあるんだよ。



「縄文人は、何食べていたの？」各復元住居にいた解説の職員は、子供たちの質問にドキドキの連続でした。

おいしいよ



赤米炊飯



土器づくりも人気コーナーのひとつ。みなさん真剣に製作中。



「私だけの腕輪をつくっているの」ペーパークラフトは子供たちのお気に入り。



「お父さん。しっかり押さえてて！」縄文時代の布の編みものは簡単そうで・・・

入館者3万人達成

1998年4月に新築移転したセンターが開館してからの入館者が、6月24日に3万人に達しました。3万人目となったのは金沢市千坂小学校1年生の山森祐紀ちゃん、千坂児童館の「親子バス遠足」にお母さんと参加してセンターを見に来ました。祐紀ちゃんにはセンターの武田専務理事から記念品をお贈りしましたが、祐紀ちゃんは、複製の縄文土器と花束を持ちながら「うれしいです。お部屋に飾ります。」と喜んでいました。



展示室で記念品贈呈(縄文土器復元品)

第3回 いしかわの発掘展「木製品からみるいしかわの古代」

いしかわの発掘展は、石川県内で発掘された考古資料や、考古学研究の最新成果に焦点をあてて、いしかわの歴史や文化をとらえる展示です。今回は、「木製品」をテーマに8月1日～31日まで開催しました。

木は家を始めとしてさまざまな形で使われてきました。私たちの生活に欠かせないものですが、発掘調査によって遺跡から出土することは多くありません。まれに乾燥や腐食から守られた状態で、溝跡などから大量に出土することがあります。ただし、そのままの状態ではすぐにだめになってしまうので保存処理が必要となります。



発掘展会場



その保存処理の技術や年輪年代測定法など、考古学における最先端技術についても紹介し、いしかわの古代人が、樹種の特性を生かして木を利用してきた歴史や文化を、出土品や古代体験ひろばの復元住居を通して考えました。

普段はなかなか展示しにくい木製品ですが、志雄町荻市遺跡出土木製容器、宇ノ気町指江遺跡建築部材、金沢市畝田遺跡出土農具類、小松市八日市地方遺跡出土農具類、小松市千代・能美遺跡直弧文彫刻木製品などを展示しました。

訪ねてみよう加賀・能登の遺跡

末松廃寺跡（国指定史跡）

末松廃寺跡は野々市町の南西端、手取川扇状地の扇中部に立地する古代寺院跡です。昭和41、42年の発掘調査等で塔、金堂、築地塀の跡などを発見し、大量の瓦、瓦塔、和同開珎と呼ばれる銀銭などが出土しました。創られた年代は7世紀後半で奈良県の法起寺と同じ伽藍配置をしています。建てた人は北加賀に本拠を置く有力氏族道君といわれています。また、寺の屋根瓦の一部は辰口町湯屋で焼かれたことがわかっています。

寺域の大部分は昭和14年に県内の先鞭を切って国史跡に指定され、塔や金堂の基壇などが整備されました。現在、加賀地方で古代寺院の様子がわかる唯一の場所となっています。

公園整備の時に移植した木々は見事に育ち、特に春になると桜がピンクのじゅうたんのような花を見事に咲かせています。お花見がてら古代への想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

なお、出土した遺物の一部は野々市町御経塚遺跡に隣接する、ふるさと歴史館で展示しています。こちらでは縄文時代から近世にかけて野々市町の遺跡から見つかった遺物などの展示をしています。お気軽に足をお運び下さい。



空から見た末松廃寺跡



金堂、塔の跡

末松廃寺跡(国指定史跡)

所在地：石川郡野々市町末松2丁目地内
 交通：金沢市香林坊から富光寺住宅行き
 「末松」下車徒歩2分
 お問い合わせ：野々市町教育委員会
 電話076-248-8545

野々市町ふるさと歴史館

所在地：石川郡野々市町御経塚1丁目182
 開館時間：午前10時～午後4時
 （月曜日、祝日の翌日、年末年始は休館）
 交通：JR野々市駅下車 徒歩10分
 北鉄バス上荒屋住宅線「御経塚町中」下車徒歩3分
 お問い合わせ：ふるさと歴史館 076-246-0133

